

和文題目(ゴシック/Bold/14pt)

Title in a Western Language (Times/Bold/14pt)

8022XXXX 慶應太郎(Taro Keio) Supervisor 矢上諭吉(Yukichi Yagami)(ゴシック/Bold/12pt)

1 緒論

課題研究および特別研究第1修士論文の予稿集は、A4版原寸によるオフセット印刷により出版する。執筆の際には、以下の説明を読んだ上で、可能な範囲で指示に従うこと。

提出された要旨は、修士論文審査発表の際に、審査員に配布する資料としても利用する。

提出にあたり、A4版・白色紙を利用し、黒色にて印刷すること。図や表を示すことにより分かりやすく簡素にまとめること。英文で作成する場合にも、可能な範囲でこの見本に従うこと。ただし、pdfファイルによる提出(修士論文予稿)の際にはカラーとしてもよい。

2 論文番号

論文番号は2007-XX-YYとし、XXは研究室番号、YYは当該年度の研究室に所属する修士論文提出者を発表順に並べたときのシーケンシャル番号(順に提出者数まで:プログラム参照)とする。ただし、当該年度の春学期発表者から01とする。その番号を用紙の左上の指定された場所にTimes,太字,10ptで記載すること。

3 レイアウトと文字サイズ

レイアウトと文字サイズ等について表1に示す。左右余白は20mm,上下余白は20mmとする。

修士論文の題目は、1段組で中央配置とし、ゴシック,太字,14ptとする。下に適当な間隔を開け欧文題目を記載する。さらにその下に適当な間隔を開け、学籍番号(半角),氏名(欧文),Supervisor 教員氏名(欧文)をゴシック,太字,12ptで1段組,中央配置で記載する。(欧文文字もゴシック)

その下に適当な間隔を開け、本文を記載する。本文は、2段組,明朝,9pt,1行27字程度,1コラム55~60行程度を標準とする。章は、9pt,ゴシック,太字,中央印刷とする。節と項は、9pt,ゴシック,太字,左寄り印刷とする。

英数字は、CenturyあるいはTimesを用いることを基本とする。字体に意味がある場合(ベクトルなど)には、この限りではない。

表1 レイアウトと文字サイズ等

修士論文題目	14pt ゴシック	太字	中央
学籍番号など	12pt ゴシック	太字	中央
章	9pt ゴシック	太字	左寄り
節, 項	9pt ゴシック	太字	左寄り
本文	9pt 明朝 1行27字程度 1コラム55行程度	標準	両端揃

4 ページ数

ページ数は、下記の通りとする。

- 課題研究予稿: 1ページ
- 修士論文予稿: 1ページを原則とし、2ページも可能とする。ただし、3ページ以上は認めない。

5 数式および図表

数式、図、表には、通し番号を付け、図、表には必ず説明文を記すこと。また、数式については、以下の記載例を参考にすること。

$$\operatorname{div} B = 0 \quad (1)$$

$$M\ddot{x} + D\dot{x} + kx = F \quad (2)$$

$$\frac{1}{r} \frac{d}{dr} \left(r \frac{dv_z}{dr} \right) = -\frac{1}{\mu L} P \quad (3)$$

6 結論

提出期限: 別紙要領を参照のこと!

提出場所: システムデザイン工学科事務室内 矢向のポスト

提出方法: オリジナル1部を研究室単位で発表順にまとめ提出すること。

参考文献

句読点は、「.」と「,」を使用すること。

論文番号

青山(藤)研究室	2007-01-YY
青山(英)研究室	2007-02-YY
内山 研究室	2007-03-YY
大西 研究室	2007-04-YY
大森 研究室	2007-05-YY
佐藤(洋)研究室	2007-07-YY
佐野 研究室	2007-08-YY
谷下 研究室	2007-09-YY
長坂 研究室	2007-10-YY
西 研究室	2007-11-YY
菱田 研究室	2007-12-YY
村上 研究室	2007-13-YY
矢向 研究室	2007-14-YY

課題研究の春学期発表者はどの研究室にも存在しないので、発表順番の初期値はYY=1となる。

特別研究第1は春学期・秋学期の通し番号となるので、指導教員の指示に従って発表順番の初期値を設定すること。